

2年探究実践Ⅰ 課題研究 研究計画発表会

1. 仮説

- 各研究チーム1名ずつからなる少人数グループで、研究計画（仮説、検証方法）を発表し、意見交換できる研究計画発表会を実施することで、下記の効果が得られる。
- 様々な視点から意見をもらうことで、方法の妥当性を検証し目的や方法が修正できるため、質の高い研究をスタートすることに繋がる。
- 生徒どうしの議論や質疑応答が活発化し、生徒の主体性と協働力を高めることができる。

2. 方法

- 生徒自らが発見した問いについて、先行研究の調査や研究方法の検討を重ねて課題研究テーマと仮説を設定し、「研究計画書」を作成する。
- 課題研究テーマ、仮説、検証方法や先行研究を踏まえて研究オリジナル性などについて発表する。
- 研究の質の向上を図る目的で、特に仮説設定、取得すべきデータの妥当性について重点的に確認する。

持ち物：研究計画書、研究に関する資料、Good job シート、マジック、付箋、消せる紙

授業の流れ

①ジグソー活動（35分） *A→B→C→Dの順で発表

各研究班の出身者1名ずつで構成されるジグソー班でグループワーク形式で研究計画を発表し、質疑応答を行った。意見や質問は付箋のメモを手渡す方式にし、エキスパート活動時に研究班のメンバーに説明できるようにする。個人発表（4分）で研究計画書の内容を口頭で説明し、質疑応答（3分）で付箋(*)に質問や意見を書き、発表者に伝え「Good job シート」に貼る。

②エキスパート活動（15分）

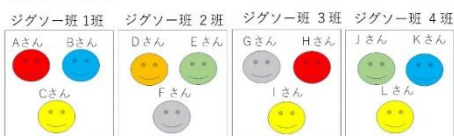
研究班ごとに集合し、出された質問や助言などについて情報共有し、一枚の消せる紙にまとめ、議論の内容を「見える化」する。

③まとめ

まとめた資料をスマートフォンで撮影し、Googleドライブで共有する。研究計画を再検討し、研究計画書を修正する。

①ジグソー活動（35分）

【手順】
別々のグループの出身者1名ずつで構成される「ジグソー班」で、計画発表を行う。



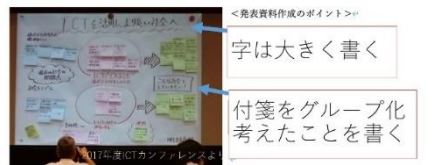
②エキスパート活動（15分）

- グループの座席に移動
☆消せる紙とマジックをもっていく
- ジグソー活動でもらった付箋をグループで共有



③まとめ（～7限）

- グループで研究計画の「課題と解決策」をまとめる



*福川利博(2012)科学技術動向「大学・大学院におけるデザイン思考(Design Thinking)教育」参考

3. 当日の様子

